

“胸さわぎ天動説”  
連載中

マンガ家 小林博美さん

今月の人は、小学館発行の月刊プチコミックという少女マンガに今、『胸さわぎ天動説』を連載中の、つる一丁目

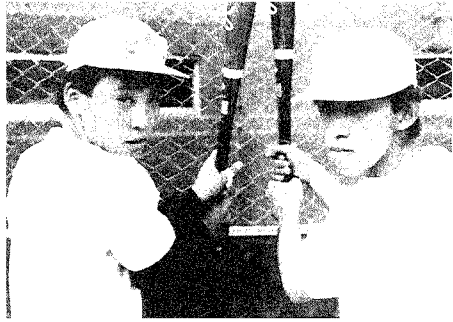
に住むマンガ家小林博美さんです。マンガ家になったきっかけは、物心ついた頃から絵やイラ

ストを見るのも、書くのも大好きでした。マンガ家を目指してマンガを書き出したのは高校になってからで、18才の時コンテストに応募したところ入賞したのがきっかけで、この道に入りました。コンテストに入賞してもデビューするまでは、なかなか大変だと聞きましたが、

高校を卒業し、デザインスクールのイラスト科に進み、講談社、集英社、小学館などのコンテストにも入賞しました。しかし、色々なコンテストに入賞しても、デビューするところまでは、なかなか行けなかったです。専門学校を卒業して二年間は家において、小学館の研究生となり、専門

にマンガのアドバイスをしてくれる担当の編集者がついて勉強しました。デビューしたのはいつですか。二十二才の時、プチコミック八月号「明日への季節」でデビューしました。読み切りから始まり、段々連載されるようになりました。一番初めにファンレターをもらった時と自分の書いたマンガが本屋さんに並んでいた時は、すごく嬉しかった。作品の中に都留市を舞台に書いたものがあると聞きました

自分が通っていた桂高校を舞台にした『お菓子ちやうか』がそうです。その他に身近な作品では、大月市立中央



△村松 徹君 △熊坂昌彦君



△尾島正紀君 △長田信太郎君



△篠塚正義君 △岩村健治君

れないのが現実で、どんなことをしても点を取る攻撃策として、バンド、走塁を重点に練習をしています。国体予選までは、後わずかですが、十二人の力をふるに發揮してもらい最高の状態で試合に臨みたいと思います。かいじクラブコーチからひと言 岩田匡宏さん 第四十二回国民体育会関東大会も後一カ月と迫り、子供達は、毎日厳しい練習に励んでいます。今年は練習日数も人員も少なく、満足の行く練習が出来ませんでした。しかし、練習で身につけたことを全て出しければ必ずそこには、勝利が待っていると思います。 沖縄国体出場を目指し頑張ってください。